

「カレーうどんを食べるという行為は、食のスリルと悦楽に満ちた行為である」…またまた、面倒くさい出だしで恐縮です。「食のスリル」と言ってもいろいろありまして…例えば、ナイフとフォークを使用しなければならないコース料理（外側から使うんだっけ？内側だっけ？…汗）、初めての寿司屋のカウンター席（How much?）、山小屋で食べた4本足のある謎の天ぷら（あくまで個人的な体験です）…、などいくつか味わう場面があります。わたくしの大好きな「カレーうどん」もその一つです。特に「クールビズ」が終わってネクタイ着用のこの時期は…もうお判りでしょう。「汁がはねる」のです、激しく！思いきり食べたいのですが…。これまた大好きな真っ赤なナポリタンは、フォークに巻き付けるときさえ注意すればいいのですが、カレーうどんの場合は、口に入れるまでのスリルと言ったら…（うどんの先端を口に入れても、後端を完全に口に入れるまでは油断できない）。箸にうどんを取る時に（ちょっと多いか？）などと一抹の不安が頭をよぎったとたん、うどんが箸から滑り落ちてしまいます…。これで何度失敗したことか…。でも、うまいんだよなあ。あんまり大きな声では言えないけど、うどんを食べた後に残り汁にちょっとだけご飯を入れたりして（禁断）。今日の給食は、鶏肉のマーマレード焼き、カレーうどん、りんご、金時豆パン、牛乳でした。今日もおいしかったなあ。ネクタイ汚さなかったし！

